

自分をつくる小さな行動（1学期始業式）

2022・4・7 校長 重枝一郎

みなさんは、何のために学校に通い、学ぶのでしょうか。それは「自分をつくる」ためです。本校のシンボルワードである「大切なひとり」という意味を本質的に理解することにつながります。それが学校で学ぶ“目的”になるのです。その“目的”のために学校という学びの場があるのです。つまり、学校は「自分をつくる」ための“手段”なのです。ところが多くの学校は、この手段が目的化し、これをやっていたら将来役立つとか、こういう力が必要だから身に付けろとか言われ、一律の内容を学ぶことが目的になっていないでしょうか。みなさん自身が「自分をつくる」ために、**自分に必要なものを学び取るんだという当事者意識がないまま学んでいても「自分をつくる」ことはできません。**与えられたものをただ吸収し、自分をつくれないうまま、多様な共生社会に出て、想定外のことが起こったらどうなるでしょうか。会社が悪い、世の中が悪いと周囲のせいにして、社会の一員として自分に何ができるのだろうという考えに至りません。そして、他者に対して不寛容な人になります。それは結局、自分自身に対して不寛容な周囲をつくることにもなります。「自分をつくる」とは多様な共生社会で、自分らしく生きる術を身に付けると同時に、自分とは違う他者のことも尊重できるようになることなのです。

私は、本校の先生方に対して、肩の力を抜いて、もっと自由に生徒に関わってほしいと思っています。**自由とは、自分らしく生きるということ**です。私たち教師がそうでなければ、**私たちが、みなさんの「自分をつくる」プロセスに役に立たない**と思います。先生方一人一人の自分らしさが、みなさんのこれからの学校生活とウィンウィンの関係になると考えています。だから、私たち教師も生徒のみなさんと一緒に歩いたり、走ったりすればいいと思っています。生徒のみなさんは、**「自分をつくる」ためには何が必要かという問いをもち、自ら学び取れるよう、**本校の教師陣と学校生活を送ってほしいと思います。

「学び取る」ための秘訣を一つ伝授します。それは、「**小さな行動**」を起こすことです。「小さな行動」とは、「やってみようかなと思うことを誰かに話す」とか「わからないときは聞く」とかで十分です。現代は、情報を得ることは昔に比べてたやすい時代です。しかし、自分自身の力になるのは、**小さな行動によって得られる“自分だけの情報”**です。この“自分だけの情報”を軸にして、世の中に出回っている大量の情報を取捨選択してくることが、「学び取る」につながります。「**小さな行動**」の積み重ねが、**自分だけの自信や勇気を培い、みなさんのこれからに大きく影響していく**と思います。